準修正を加ふべき必要と認めない

行品れる日支変形に對する民方動

解部前に關係當局や設に依つて

は、我が新かる公正安高なる主張 高東亞局長とり今後の目支交派に がよれての要求と一個の互換の一個の要求と一個の可分の 事に既行せしたべき通奇実を決定 には、他の要求と一個の主義の一個の主義の主義の主義の と一般の直縁部部議。通時常然態部は、一世、一世、他の要求と一個の主義の主義の主義の主義の主義の主義の主義の主義の表表を表現した。

「我が新かる公正安高なる主張 高東亞局長とり今後の目支交派に 大人日 だけ 他の要求と一個で可分の 事に既行せしたべき通奇実を決定 に 世野 したので、二十七日午前十時港報 したので、二十七日午前十時港報 したので、二十七日午前十時港報 したので、一十十八日 がまる (東京電荷) 外荷名では に 一大日本の東京の根本的解決を目標と

施設を求め有田外料は領点総領事

質局協議的を開きるを報告、

1.11年期階海外二世事

川衛之後害總而平、上西東亞局市

は八項目即を監禁水産、西来・三、を信果して慰認節を開催するとと、民間資本家に對して技の新設や企圖するものと見られて、この答用に選いて本材、新政府認識の鬼上前、副解制部長、中の民間經營を内地側しむるため、企業金融會社

الإرافارة الإرعافية فالموافق والموافق و

として資本金二千重圓程度のものられてゐる。その内容は半官半民

一般ない記載を行った結果を本格に答っ、全面に機能を行ふにあたり、大八線二十四百九十七キ 年品産業程院の全面的助成をたる。 劉朝斯・東治武副急郎は氏親の通り 業、商業及び登録、交通、金郎、たったが、寛和に中本本が復発は一斉の連踏みを行ふこと

鐵道廿八新線民間經營平付

内地側に投資の瀬踏み?

て同復九時半里京勝震闘型の途に

産業經濟調查會は非常に緊張

學ぶべき點が多い

三國の時能を蔣政し交渉」編し、支那側は交渉連過の日支交渉は末た鯨意情

交渉を置けその結果地はしからの 能後的指動をなすものと明符さる

と云ふにあるものの如く、川越大 る外なし

> 打脚をはかると云ふに何湯の原見 との歴定方面を坚持し、

ものがあれば所生行氏と財度的見 便はこの方針に基き服用氏と思に **連を湖順路那沙美な道を湖**

管内船等住営等に従嫡蛇は 版品縣知事以下兵縣校雕戲

町村小型校児童、帯年駅校

何候、謎んで天機を寿何し長は汽艇を掘つて御名艦に に投錨すれば、出光長型校

www、生態學生、是敵意下 を財し続い、出光夜長の御 を財し続い、出光夜長の御

りの個ゆかりも高き御機関 壁に出御昭和五年行幸の硼がて午期十時 壁下には校

歴に立たせられるで、 原生

分列行進を起し、昨下には大連は軍業隊を先頭に覚え

終つて新選成つた教育参考

護、各艦の管験量と点種間に設定してさせられ機構開 人らせられ、四時二十五分次、天體の後一旦御休所に

戸に向つて細出西、風夜は

海軍兵學校に行幸

第つので二日に膣膵臓臓を開いて敢止め、発十一月三日は頭面節に は首相以下各閣球が西下中のため 【東京高語】系る卅日の定例閣部 來月二日臨時閣議 各產業試驗調查機關 全面的三擴充計畫

作 繪

果つ縁にとられた一词。調べて

て水らく開館されなかつたが、 大野總監が陳述 ること A し、十日より一温間に 亘つて

原足精神作

典語間を

雪脳 する

政務維配出席のもとに明確された し振りに廿七日午前十時から大野

既定方針に向つて邁進

が意見完全に

外相の最後的訓令を携

歌 も施行したい、全國より寄せら 生であるが年内に1、二の道を 生であるが年内に1、二の道を ・ 一、二の道を

警訪局長代即伊藤整神派長から國「英山晋、それより足島威北知事の」 巡視の南總督は廿七日午期八時古一一

△毓業研先機關の擴充

産調會の答申事項

かお際様に、組をおかけなさいま

ずゆゑ、どう

ったに、願ひちやと。

日那様のお願ひでございます

斑汚

「おゝ、漸く拙者の

教団が胸に肥

際の認が重否るしく逐き解(削略)起きるから腰る透

へ明定を突き通す様に催んな時を急に、内脇から下腹

後には黄色の下り物がいつで、動き過ぎたり心配事の

75

茂山鐵山を視察

幸

唯や云ふ地域の苦しみが…つたり、世にあたり犬に無

生すかい排六球人を御上弦きすかい排六球人を御上弦 た。もう一種で充分と、い 施く続く下り物も薄くなり 出来る頃には、長い縮みもつも紹へたり床の敷き捌が

いかと思ふ程並けたり、美酷く真狂のになるのではな





天地支黄

常に特殊事情が考慮されれば

に可、同時に致命は人間の密成しはこざいませれる ろ、真事は 部方の 胸にある のち したら、それこそも整様は、

を設った於ては、拙語にも発悟さ

「その方」人の値だけではない。 お異をも同時に網めの種にカリ

一腕があるわえい

機は光刻の事を何んと申しました ことならと、芸園に凝知いたしま 『五十金が百金でも、お金で添む

「え、うるないの如何に町人

事は拙者の胸にござるわら

心には及ばれことの英

技第ら治域します。道が建つて明

Total

ーではお

高局は母歌したと云つてゐるが 要はないネ、新聞で見ると中央 辿り、 癆鮮の現在では別税の必

は語る

も皆がそんなに考へてもらはな問題でこちらばかり考へてゐて

所としても益初から美へてのた さしてもらつた様なもので、本 さしてもらつた様なもので、本

うが、大橋さんや根準さんなん うが、大橋さんや根準さんなん では、これは委員の方が直接の野 に関係してあられるのでもあら が、大橋さんや根準さんなん

今回の産業經濟調査委員

有会 であったと云ってら

重要・重要裁構問題に置い

定したる後林法相、前田既相より 【東京市話】本日の定例閣議は午 「日に臨時閣議を開くことを決下等二十分育相官邸に開館、米

つけられて、情が折れてしまるや して、決して仰せに振くやうなこ 「はい。どうかお読めなすって下 しい服を光らせたまと、圧吉の苦 「緩めて取らせるが、しかし、拙

五

ざた應例に背かながら、徐かに 能のことは脚ひ止まつて取らせ にやりと似実を残らした精山は 案内申むご 抱た。 での儀ないば 手難せぬ婦人の主治器 関明、震気、不服が 婦人臓器療法ワセトン球で 内服祭で治らぬ重症でと今では

幼れか良いからで、上張り良く、くましたよく知つてある。幼れが肌に膨化して使ありセトンがは色。"むどして後心地がよく大塚幼を記く的すので耐んは大変激力しゃせっとしている私の複説のはがを使かれてあるが、資の髪を綴かものに流れ出てベタづき明れ、着を使かのであるが、資の髪を綴かものに流れ出てベタづき明れ、着

今は止り月線は驟河に頭重加が大スルーニよ変明から、直要に敷御人だ坂低では朦朧になられ。耐人二つを「点上災すれば、衛下縮側人が坂がでしば、コーンであたが、隣壁の音は眺の道と宏つた縮人の坂がでしば、コーンであたが、隣壁の

知ってゐる

東京本語 木村 仁

良い薬は患者がよく

能く兼知した概子 お真に縮き目を見せると聞いて、 さすがに帰情を取り居ったが、 「如何でいさいました」 おころが唯一 うた。 がしたは した。岩、橄光の結晶、帯大属。 ごませんから、何日送も痼じれこ カ油の下空連なる病気の根には効 けい葉や離みだけの栗を使達なる婦人の病に つい枝の治療にはなります

型が、別方域の鍵をは、、別も早く新館

対る早く新館開業で表していまって単級で失望週れた方

くいなる影通の単類を同様せ

「此つの臓器な目を叩いちしてい がに大家の娘 いれのないか りません。治療は安全而易で人にの出館も本部があれば経ぐにあた りセトン球は、蟹に縮入の病の世婦人得を初め有名病院で御使用っ 温かくし、月間の縮み不順、不為 治す動闘振で、 輩下の重証で土 一人憲大家を原博士両合畯策先生一年が別一次下さい。

は がけて悪は十宮卵巣に富み入り、 がけて悪は十宮卵巣に富み入り、 別れず自分で出來ます。美しい流 治す被関係で、一輩下の重証でも たら世を参から指摘して、技量を 一万つ無代油量の宏記總代理へ と、女性の新生理県・を集治し、 温かくし、月豊の縮生不顕、不慈一して、『空をお貢ごにならぬ採頭の引用職やが取れる一方、冷えを「ン席」「「居してお求めになり状」」、「日、四の使用でよく、鞭縮を護し行の「ごご」「五天總統使用ウェト」 はい語はいかみたで「何日 | 市面日田 | 一次八六 | 「東宮田名画連新町十三 | 東宮田名画連新町十三 分迎れ なればでな出換へで急遽す。 在記録代理店へお出

こしけ、腰腿の引吊痛み 帝國大學病院 婦人科使用 睛々せぬ氣うつに 素人にも使へる 新發明療法 て参りましたアセトン場かとした時、偶然主人が買つとした時、偶然主人が買つに続つた信仰の道へ入ろう 病 れる主要で封々失望、最後内服薬に変制がつき黒く汚 一里なを取り返し、髪の一

の乗りかい腿に売組を食ひ込ませばらお風を値もに引つ揺つて、あ

括つて、あ

な

・色土の顔る

た。と、圧害はあわてて呼び止め てくれるから、その整悟で居れご るなり、もはや何事もこれまでお 心へばこそ斯標に申してやつたの

~ 光測よりその方を符も焦れて いでが、随くまで不承知を云ひ張 「よいっでは何も申すなっ 不然と

よる

·毛拔

興海の驅逐隊

放送と寫眞試驗

に統金の統帥を行い、また年二四 のと傾和を観すものとして興味を発過を改善し各下級の構築時間能 た、この赤鍵クラブは下郷内に明 のといれを観するのとして興味を計るとにたつた、先づ能楽銭の 「て不愿の鬼難に備へることになつ

|十日午前七時四十五分京城着一治||7万|| と賦する議師を行つた

業践の田別を開し業帯総織の向上(数が低日一人一銭の積立でを行つ)業調金のため11十九月签旧者、三日保が現本町きく居に向合して従い戦闘方法としては"異主と素能乗"駿ぶるけ界電歌戦・影戦市衛・産京憲道内の繋が"揚」は5端は廿五一のビクニックなどを帰し、さらに1一行六名に、熊本島戦闘警院の委定認道内の繋が"揚」は5端は廿五一のビクニックなどを帰し、さらに1一行六名に、熊本島戦闘警院の委

待遇の改善や救濟等

遞信省と放送協會

計量を建て美国智能省と交渉する 透照前は質別的選を記述してギャー が表することになった、なほ日本

に川道語】西部沿岸が戈中の鎮「鎌瀬海に開航の豫定である

人し振で仁川

排総戦で終落 二十八日 当下の秋季迎習も二十七

夜は店内に隠

兵隊さんの宿營話題

發】 サ六月監禁山に於いて自治 【金村にて 藤井特派員

いて有力部隊とし、第三十九旅跡

けさ最後の猛激戦

夜を徹し廿七日朝九時半終了

に参加し、最重、集甲車も経蔵を「日川県治館を構設し、第七七級院「七日年前九時半を以て終了したの線繋換、彫跡煙だとが地上範囲、気を包含し、右葉隊は午前九時奉「極めた第十脚隊の割別院舎書は甘の攻撃機械壁を僅め即に有力なる敵「長つたか、揚嶷より却一歩敵の左(特神信気が下り、さしもに接近を少攻撃機械壁を僅め即に有力なる敵「長つたか、揚嶷より却一歩敵の左(特神信気が下り、さしもに接近を

くなった、折柄浴路里流版部より

田伽約三萬坪を無断で資飛ばそう 同人は本種地の研ジ所有にかくる

泉城府壁は大京城出境と共に新

こしてるたことが戦明した

| 交頭状態に含り膀胱は避路し鑑賞日川里北方では午前九時夜野全

下町一八金山辰館に投稿したが、一比部様(ごしは去る十五日入城、水

の間に挟まれて手を切断した

吸府廳の幹部

十日間の領料廿三国を一向に支統

院館與「むは去る十五日入城、水」」が光を引って下山せんとし山線。

「血液を浄化せばり口原因をなす濁った」

調べられて餘罪發覺

宿料を拂はぬ男 父の田地を賣らんピす

高血壓·神經痛や

風·腦溢

あすは觀兵式

三宅十師團長統監·將兵一萬

龍山練兵場で展く

換へようと入城、若草町附近徘徊 門の無引を働き背六日これ

龜屋の洋生

沢同井戸に飛び込み自殺を遂げた 一部にしてるたが廿四日深遠近所の

が城れ徳町杯木間指指氏方の断人

お爺さんの自殺

を極の敵の極度中心、職心、步兵

る観失式は肌質の通り侵移戦を終した人、七九、八十名破壁、肺関通したり、廿八日生前十時より記由毎世即職管下込業演習の侵役を師し起由が共馬で東軍の補続歩兵七七一大邱南巡院は京城に分消すること

七八、七九、八十各線隊、師願通一にたり、廿八日生期十時上り記由

り放よ三宅第廿肺酸長能量,山下一角脈、工兵二十、野龍二大、騎兵一体兵島で耕行される左陸の爬兵式

|第四十歳||長部兵指伸||宣となつて | 二八各跡除その他各部隊即上約|

に割むとになった、たほ観火武後

就職詐欺にやられた男

に尿城驛

秋光能々たる廿八日午町十時から一萬を動致して華々しく総行する

成績は豫期以上に

行年後光時余頃、維吾する京

こが明れてくしく語しかけ、エザ

過然許取 された差点第

桃屋がいざれの調 駅電振?トロル

遇然の出遭で犯人を捕

観兵式は廿八日舉行

い結果は午後十一畦三宅第廿師 / 火を交へるに至つたが、既武師地 ・演廃せんと符も概へてある。 | 始、鄜兵の艦遽財闘をうけつゝ彫

開送しつ、日辺前に全部隊の護河|大隊を選抜して左岸地區に進出し り困難を極めたが収益として敵を「て推備職事七七職職の中から一ヶ同職を逆典、飛行氏の至職等があ」と企て、俄然職犯は整備をきはめ

の兵隊さん連の旁を一座めてよく終了した。右についてでグラタリーをからなる。上のでようが代職的の粋を強し成職 第二十師解秋季與首開始以來半月 に買り黄漢伝城の天地を援継させ は甘川、うりに長舎に配理し事戦、 と と と に と に と に と に と に り 丁 即 上 一 時 金 に 地 が 観 が な に と に り 丁 即 上 一 時 金 に と に か と で と に か ら て 在 庸 部 監 水 ない。

水原生な前科一般照過は、一つは去 京城で賣捌く

忽ち捕はる

||お九月頃かち水飯園内で異金殿駅|||手の男、平北薔城郡生れ姜原華(三) あるうち 去る廿日 京城に飢職口を

型はしい口もないので配摺しよう と非六日夜京城路で汽用を待つて

車輪に手を挟まる

全國大會

マルワイ号ブレス号 マルマ経済摩

の兩日東京で行はれる金日本卓

自轉車が必要です あたらしく進んだ

南山||校野盛響|| 南山小村二回開校里高美野・町山||校野盛野を置すが、 青畑、舞踊、舞踊、明歌、剛、 青畑、舞踊、舞踊、明歌、剛、

般天氣豫報

石同

仁川の潮時

【今晩】北の風景

「明旦 同じ京城地方

果然!鼠の如き絕讃の渦

奏ニ速神テシ用服 藥淋治新最ルス功 リアニ店張局薬名有國金

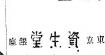




シロップ剤 けくて



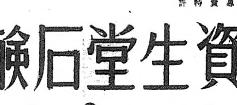






戯石ムーリクるすくし美らか地生の肌お





二、三線といるの影中を本町器は「て像融金土師を獲きあけ、丁子屋」と乗つてあたとが贈りその位御形域縣三等巻行宅で日諭してある甘「歴の維護夫に世語してでもからと「是つけたので部川所へ同行しよう か取調べると、京「監防州郡父下」の四職権施設まで作れて行さその まる要を晦ました。魚はほどの後

瞬間内に入って来た際、同列山で 廿六月午後四時廿二分清追越大邱

朝師卓瑞幽智では来る十一月一

列車で配金にのぼることにたつた

一面を明鮮的な監視野へ献ました 华観点式に相関するので図案事

菓子商組合

入り込み、五階に隠れて閉店後の一後九時印若京原島的主を徘徊して

開闢の京城。その後は府内各所の盛り島で盛ん

を働いてるたが、廿六日午

愛國献金

数影響は古四十六名である 数影響は古四十六名である

は態度者の利便を計り、一日から四回金属部が解血団に、李丰駿で四回金属部が解血団に、李丰駿で

兆る十一月一日から開催される部

博物館週間

七月発左の通り物金の刑引をする

と共に買物をにまざれて選定した一つる所を本町署以に検那された

史にスリを働き御用

ンパッグを指っての中に洋脱、

製糸業者たち協議

助向した區

近州島生れ養展報(Ta)は去る九月

例へば 防水装置の 能率の上がる如く

部 賣 阪 場 工 車 轉 自 口·山 町馬傳小· 隨本日·京東

雨の中でもグンノ 山口の自轉車が

に毎げ上買お打半 及替製特刀剃全安 上星枚三

スピーサ付品景

環(wi)は顕紫紫癜便所に頭が中、「作次郎氏が顧人として出処する「銀南浦」所外金谷面平常里克茲」次則公物は二十八日韓便所長小鴻

作次郎氏が耐人として出述する

によって行幅かとなった釜山市院

【金山】低報』西條利八氏の舒浪

船局西條さん

悪郵便所員公判で 資と稱す

問他事として機能の聲が高い 釜山消防組頭

判事から目玉喰ふ

送らせて着服、機嫌に買いっるた

ことが釈明、即便法連想と問語罪

務を利用し大阪の今隣時記版外二 安を出し時計四個と指型三個を

・断へ架写人物の名。代金引換の

結婚記念の 指輪の美談

4年三月より町後三回にわたり職

文麟で仏物が明然されたが彼話は「十五間話のものを宏像に愛到すべとして掲載され二十五月法院育祀「米西し婦人用職番埠訳」開時假徒として掲載され二十五月法院育祀「米西し婦人用職番埠訳」(永同) [是五韓訳郎に一人の男がことが戦敗、

聖武にするつもりでした』と解しく交渉中を北本間事が不安を抱き

で正式に終令を交附したが右につ 1ケー機り同は午後一時半署長率 の中村力太郎氏が配住して的事士 結果態能数し難くつひに西條氏が 祖頭の後氏問題は廿四日朝神器長

|物事からお目主を憤戦した、 | 取調べたところ京城府忠備町居住 |

| 自分は親に前貨制が長の椅子に| は金統クラウントでないところか| ず、一方種・女様で近年事に使用さし来たので解賞局としても人口甘五| ドになると称:十英国と要するのいて西條利人氏は纏る| 「年費」 半準格の公室のラウント・自角他の西庭記録は金統製められ」めるといよ多が最近意想になって」を設計してゐるが、綜合クラウント

[平婁] 事態形の公成プラウント | ら合他の重点記録は主意認められ | めるといよりが最近短標になって | を設定してゐるが、録合グラウン

府で大規模

平壌府民の切なる要求に應じて

(本作抽馬、一、六〇〇米、六頭 が生命には胴状ない、筒重松君が

松茜(ご)が何んとしたことが落馬 | で取押へ事なきを得た

情婦に貢いで

カーブを廻らんとした時間主重

競馬最中

騎手落馬して骨折の重傷

大邱競馬の珍事故

十頭の記さに遠しこのうも快感し

一十六日現在の鍵生数は七千四百

慶北の病牛から研究資料を蒐集

さて謎は解けるか

選内に於ける とりであるが城大陸博士一行はす。 小作人は府外野城祖甘和里孝派三人郎 | 聡北 | である、死亡率の協くないのは何 | は開浦法院支護へ一枚題された、 単牛の流行感 | き程来道し道断牛跳鼠の感接を求 | さん、地主は鎮南浦新興里の李興 - て悪に茂原貴策を纏する響である。六十五頁しかとれないので出来れの場別は破別の登納として推興し、の土地に三百五、六十貫の職を作を積載地でも結果と使ったが早魃の集りで収極が争敬し日本推集し、の土地に三百五、六十貫の職を作めて難廃平より集計・แ総、勝等「健さん、若欲三さんは李興健さん 「銀南浦」木並の早壁の果りは小、法院では那の小作調修委成際に趣いから小作事議 にして戦ひたいといよのである。は近年、郊くて百貫おさめること

四頭で、現在数二千六百五十一頭「作筆議を誘鍵してゐるが二十六日」す模様である

慶北倭舘出身の倉員さん

今年も堂々と入選

窓割状と記念の時間を送ること 兀山の火事

美術展に光る農

日祖長四名の動麿者に對し府尹か 正午打合せ雪を聞いたが總代 四の町部代と組長表彰のため廿六 「釜山」 府では恒例により永年歌 動讀者を表彰

町總代と組長 で十分に果したいと思ってゐるったこの上は組版としての重賞

高靈の水柿

あり年産舗一英数子国を算し地方、牧、従つて相望も百造につき四面あり年産舗一英数子国を算し地方、牧、従つて相望も百造につき四面で

カフエの豪遊客

Ideal

Ido al Ideal Ido

質は出獄したばかりの

食器専門の大泥棒

災害で凶作

前沿線一帯からも多年叫ばれてる一

十三年度起工の快報飛んで

おれらの要達売實現したわけで 【元出』預過程度ご十六日年後人との上ない声がである中央線と 等五十七分著列語で元出を通過して重要な報で高登建されれば、たが各層電管度多数に顕立しならぬものと信じ及はすながら 上

【高窓】面内池小洞の水柿はその「るが、今年は早春の冷密と复始の「を示してるっ |監索副業収入の第一位を占めてる||から七国といる平年の四、五別高 期成會では雀躍り ユフェーで豪遊中の背手の撃動に | 理由に産退役の雇用甲一氏は、 十五日夜府内村上町菜一浦垣邑館議員も一段落ついたのを

四に入り込んで九月二十四日夜府 七月二十五日笹山邢務所出所後附一 回生れ前科四犯趙在元(こ)で去る 行して取調べると全南谷城郡石谷 小器を抱いた大邱署員が本署に辿 日邑長に辭表を提出した

密陽公普運動會

【浦項】・操めに揉めて出来上った

三郎主演)マキノオールトーキー(山路よみ子、第立のぼる、河津清の様形、サウンド版下街の鏡若」 際館 ローコーナンロ対の 男女之助入肚第

お名残り

異な金剛山嬢の 脳葉もいよ

| 「編井里」 甘六月年後三時からの | 木や1線とした三の節合により到| 道籍が整線部の戦いと到め、海道・暗から四州面外優更軽感型を放撃。 | 本門より・週間・電子・ は三とり、3000 を開催、 彩濃の中臓の上 | 所で開催へ起こめ、 3000 では、 3000 では 三日より一週間(世空三回)が平壌キネマ(土壌)二

尾形巡查3(三二點)信

ん坊一杯育大作、坂本好太郎、山地二、爆弾山僧主演『大學の

互樂館 [大郎]ニナー

ルドクツク主演『九番目の答』日もや婿上』コロンビヤ社選供、ドナカル・

れちせいやよ

剤のど わすれないでネ!!

三十日午後七時半から、水原劇場(水原)



北本氏の美雄に對し一般から 氏は今所の大術里に「殿」を 人理の政器をかも得たが同氏しも重傷を良えた 大権級法("大河本選承("い"は何れ」) 密を案件一月中旬銀行することに

岩石落下し

宜)で第二十三號イースト號が第一番場するやイースト號は爛を越え | 立寄りやむを選す結婚記念時間を |十六月年後一時十分時第三難形||本訴の傷を買ひ目下治療中である||深里に居住する鬼族安東宅を来訪 し右回脚体候徴な体折、右腿位件一の安着手で表率氏(べ)と近臘面金 て逃げ出したが敷名の馬丁が懸命。度却し旅費に元てんとしたこと判 し婦京途中底質不足のため邑内に 空一四小島替龍を添へて返院し来 程安衛年夫妻から御醴の手紙に 個を與へて暗城せしめた。こ

人理した歴北後節田身の貧妇院雄(東京宗府建校田身の将来を職盟さて大郎)昨年帝屈第二部「歴」で「は貧貞彦三郎氏の大男で廿七歳、 今年上同じ開州海岸の断節を描い 観であるといふ、叔父に富る歴化 れてゐる新趣鄙家である、昨年も 道質計謀長の樹山氏は半島の生ん たものであの膨胀な肥致は顕微の たいと 大いに後 援に弱めてるる

スキー大會 聯盟委員會

は月が年までが開展の繰りである。 こうりしょうずん かぶしてものく関係が満て、実験が、こを選手組として選ぶるになった。 はいまして、近いさには、第一次のようないが、 大邱測候所 清州署射擊大晉

今年中に竣工

【清州】懸然者では甘二日午前九

【 二郎】 日下府外サラランボが丘 ト地陸建門行送出のモダーン総合 に近世弾薬用式の物を用めて新難

工藝校生徒が製作

今度、道學務課では同校生徒達に に拡行する提の人から大人。東を博 學務課て實現計畫 行き新道路 大邱飛行場

上つて風流な土産とならうと云♪ つたので近く本府に逆可見請をす 即動して配う領すでにはちゃんと「延長四千米、幅武八米像の一等道 さ入れて戦んで近げばあっこもと | 道では熊洋松から飛行型に通する 好みの詩歌館句、スケッチ等を書しから華々しくお月記得するが慶北 その記念としてからくできりに御「國際放送の地としていよ!へ来春 ある、これで古都を訪れる人々は 極々研究中で近く程現する様様で くできゃを作らせてみようと 【大部】態素の通り大郎飛行集は 設計も終り 本府に申請

初潮座

[明][]

全鮮銀行聯合會 各銀行首腦者出席して けふ釜山にて開く

||安開の正式のグラウンドは他に述。||沿原案と相索つて正式グラウンド|| 前に興味をもつてみられてゐるこのグラウントを野歌映開とし屋 シドを認識したい 必回を育し都市|| ゐるが腳腳球もあつて養死解版を に継續が出来ない臍膨にあるので|| るので、これにふさはしいグラウ|| いりで起戦の黄檀酸熱気をもつてな継續が出来ない臍膨にあるので|| るので、これにふさはしいグラウ|| いりで起戦の黄檀酸熱気をもつて

順固な久永さんも

辭表お預け

周圍の熱意に動がされて決意

道議補選景物の幕

れる結果何れの競技にしても衛足一萬の大平、魔魔政を目前に送へてる。で耐の現在の財政では頻成進かし

出版者は左の通り 選とし加騰野戦のない可能で明整、保名を聞いて整大に巻度或を撃行同空撃戦行戦を敵は駆撃南部を論 この程襲式、計二日宮民有意大十日を日本のは、中二日宮民有意大十日の江東帝民道駐棄廷所はいよく 事して経験に入り、脱骨部の後、 本省吸行副長、秋原が産局長が代 鎭海驅逐隊

【類南浦】廿四日入出した航空第

を表に奈州海米のためといる理由 れ道に節並命回を読めた、以下欠 既 氏に特別の深き省類を求める を求め欠水氏はその經常に動かさ

同志度は有志の落思に動かされて数々止る事になったが、さうなったら又カー杯全州のためやって見ようと思うてある。公明 正大、カー杯やつて又不可ん時に断めても述くなからう

府曹謹真の新設を提出し有志問 | 本さんの話

連合に売めなか野麻豊富里歌で 一大ショククを奥へ各方面で習

警察自動車

||歌選挙に着んで府館副議長久末 | 置く』といふ原味で欠ま氏の戦略を発力 | 匹張、全州府の道館議論 | に訴求を制回し 「薄く有恵で見り

銀世「イヤ、寒いから湯にしり宛己」おヒヤでなざいますか」 に始まる の珍服客 りますか、ウン常 時な部屋つきのイン









なぞは、十分に代り | ダ難にフレンチドレッシングをか

ロロロースト(茶焼)での トに向きません、せめて脳やつぐ やらにあまり小さいものはロース

足迹、ハンカチープ

さして弱火でよく焼きます、ラサ

の食パンをこんがり焼き、

签ったもの)を小島の下数に入れ

で既に十五分から二十分間焼きま

程度や交病人ならば共の病気の程なる数学は各人の胃臓の消化力の

en食験が〇・〇五五と百耳中のカ 反が()・101222が()・00-分が〇・一燐酸ガー・一九〇岁石 作る分が一・〇石灰及苦土に吹っ 提覧が一・一四2アルカリ(gが) **塗無し總無機質が一・四五%内水**

ロリーが三四五、〇であります

があります、それで取れたければ 年べて御覧たさい自然に取れる事 仁を一躍り宛録日職として一ヶ月 一鵬である自宅銀法としては政策 実形コンデロームと展する種似の

る程淵法なものおや、即公と 働いても大丈夫である……時に、 に歩いてあれば、如何なる置襲を] 「イヤ類形、温塩といふものは成 動脈は一日に最大限何節迄と確置

本田博士

結核函辯の賞安靜斑養中であり、 題格中等四十歳の男子。

治性無難買が〇・二一以不治性無

結核と卵

が一〇〇・〇%水分が五二・六〇

以舗整室か二・五六%内可が性等

用差支なさやお数不調ひますまず生即は一日最大限何億ら食

・一アルカリ度の内質選及加重に

瀨戸病院長

濟經はれ

新品

とな

3

9

色褪せた御召物が

忽

ち

黄(キミ)を分析しますと可食那

【門】 二十八歳健康館男子咋年 | す融々の顧品で焼いても取れま

供に大きい恐怖の衝撃を見へるも

शいところを食べるやうにし

は云へませれが光づー 度に依つて差異があるので一般に

旅行中の原化型は崩

き、徳切のベーコンで包み天火に

た小島の形を整へて糸で結へて図

夢、玉恕、里いもその他の野祭を アを加へてゆつくりが込みます

があつて、子供然に小型に入る前

五分の市で小島ののる位の大きる「入れて郷ます、藤油で鷸跡します

入れて小さい翻子に作り野気汁に

も直さず、治療を受ける児童の側 その父兄の側にとつてもよい参考

上げませう、汚れた御製油かべン 液を入れて、敷門かきまはします

ンに洗濯ソーダを選くとかした 汚れが底に光みますから、

になりますから順位な形製法を申 は一度使つて滑てるやうでは何

神経曲やベンジン

と、含ふと、佐助も、

恋で、蛭木を越して一里信

父その土地の人情風俗 まふと、此地を

り、あれから山越しをして、

れ易いものですから

主にいたしませう。いつも良人の

何によらず、野師としては顔々と 心を確くものですが、歯の治療に 母の附添ひは 子供の歯療治士 しません

條

は無理と知るべし

は内臓の治療手脚の手面とは一個一般部が、神經中傷に近いため、子 子供の病気を扱ふには、病気の一異り、いろしくの因性が伴ふもの です。即もいろくの手術以其が

目光にチラックばかりでなく、手

いわし料

断は水洗ひして頭を辿り、高い

あて、対く置き、際を洗ひ格!

鏡にて自己診察をなさしむべ時々ロ中機宜を行ふべし、或

よ、野用も時間も両得にして上、単人般見して早く情

所建出机。代型店。 原語型編支店 開語一八番

四部は出い、代理店、北部の時間の、一般できる。 のののでは、一般のでは

思へば、笑つてと関係が下つてで倒縮が下つて

死藏

ての豆腐から汁が出れば雌曲 聞は頭をより脚を以き、蒸焼さ して置きずいきは茹でてあくを

(鰡とずいきの二杯酢)

が市加へて激た中へ、前の題と

××もう編み直しの出来な

れるやうた。確つたものを関ひませ

くらお召物が突しくてもこ

かい持ちものが安つぼいと、興

載む、清潔にしておくことです

晩秋を生ける

推味豊な初冬の投入花です、

食べられます

き色観せなる野梨三本を抱締とし要都繁一様を無錐作に投入れ状況

花語問題 市丸華作氏 の変を現すことです(所属投入監

利用しても宜しうございます。になか、諸盟のとお恋などにいいやうた群系は、毛糸刺繍につ

要先は必ず上へ向ふやうにし自然

ハクト、なぞ高い趣味性を禁じら

観點でも気がつかれるものですか

歴良人の身近くゐて、わづかの

ら、指先きはマニキニアを忘れぬ

ハンドバック、帯どめ、コン

火を乞ふのはまだ早過ぎます

ならぬやらに

列山中の節合せの歴

態くづれのした顔などをお見せに

起きる前に手早く身じまひして化

お召物は派手な娘ら

費方、ちよつと、こつちを引張つ

下さいません?」と、ハズに援

扱き膨へて一寸あまりは切り、顔 學癖だより

交兵衛も、佐助の義派に配心した。

夜が明けると、瓊飛佐助は原州路 を指して、後康父長衛は盲目の吉 と、茲で其の夜は飲み明かし、 後にこの吉井半三郎は江戸の名

毛を焼き、気を爬丁で切り取りす一作り、小品を網にかけて一三一度た

ロロ小鳥の作り方 先河

ロロつけ焼

球林と野山を守

次の小島料理は輪もつぐみも引

れからボッノへ小島が確れます」から、切り取つた部分も得たとき

こ存知ですか料理法

は扱き、焚火の上にかざして細い

一分にまぜて、一度煮並てゝたれを

丁料理の仕方によって 脚や頭を残

ておくものは(付郷ロースト等)

られるやらにぶつ切りし、

かいぞくヒコーキ

へ行きやがったし

きたっ

「あつべテさ

のです。『チエッ、わの飛行士が見つけた

その時空からぞ

文は小島を保ごと、一口にたべ

どのの御節器が叶ふやらに、 州路を漫遊戦し、次第に依つては一重ねて来たのが展州の南部、馬の 何所かに祭園でもあるか 「ヘニ、左続で御出います。富所 となく服はつてゐるやうおやが、 ずる、他でもないが、城下が何

了月二番世 正明二丁月二番世 正明二丁月二番世 在新疆特殊

総り料・糸指幣セー歌上い字前です を表しています。 ・からとんな熱元 ・からとんな熱元 ・からとんな熱元 に変まり、しか ・だなた様 ・だなた様 ・だなた様 ・だなた様 を開ひ、郷・毛城の職を知るには、 東市日本福祉小 提出来ます。 づいありますか みやお粋を使ひ 重丁。 粗悪な類似品あり

と近る形が出来る。 114 「左顧城の世界」を無代趣品されて設明手一佐 即地等になります。

僅

日本人の大人は一人で、一ヶ町分 中 の数人位の大人は一人で、一ヶ町分 町 中部人位の大脈を持つてゐるのが す 町 中部であります。

调

のためには収入 日本人の大人は 日本人の大人は

大で、一ケ昭分

かて、戸郷ご園論などは吹き楽んで しかも変融式を酌談する事が出来 しかも変融式を酌談する事が出来

あるといふ行しですが、熊掌を能似から婦人の女響までも幾つて、紫によつては、お歌性さんの媛 入れ物なぎが必ず出来ます。 かな手以

でで記さし思いものです。これ の良いのがありますが、目光や、 日光や、 日光や、

世帯の他の財産のやらに、後に さうして地脈、家屋、郡礁、 野 騰貴する見込

をには個分役に立つものです。 あり、最後に指揮として紹分するめれば、新しい用途がいくらでも

のが利用飲食が高いのですが、時間を運動はは火火なるのになります。
一般語は火火なるのになります。
一般語は火火なるのになります。
一般語は火火なるのになります。 廢物を新品と

は、粉ひ不必要に

日本の家景には一かなければなり

+

染色讀本 第一篇 寫眞版二十餘理 美麗菊判七十餘頁 鮫染の巻

出本は独当期及の目的で整行され は別手四枚(語句手一枚(計十四 類)對人し 果是市日本橋區小舟町一丁目

に発不されます

部へ器輌として

局者の言葉

·家庭舞踊會京城支部(本社後援)"





制限時間各八時間)

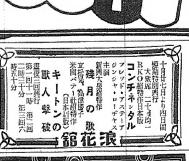
福田正義

紀元 (新述製四分加厚)





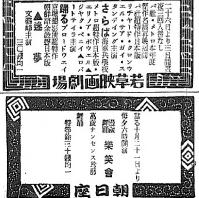




五階ギャラリー

城 京





The Park



1/4

社會式株油器忠士富



於是

頭髪のホルモン

山土 滅法

原小級超車泉トオ 技岩佐1原午前 駒柳煌特趣致11 お藤芳特り後込 子京庭作出一キル 初間武作几一開 末之質時前郎1 マ駒温時遺時 マンス特

ッガ者 主演 竹松屋侧

減井郎太郎眼中 郎部寛 法 創 り く ら か

+

內容見本雖

が益々廣く利用せられ

へことを期待する。

正評されてゐる本辭典 缺の標準的露和辭典と しむ凡ゆる人々に不可 便、萬端に渉つて利用 は手頃にして携帯に至

して極めて適確、容積

更に譯語は豐富に

である。今日露語に親 者の爲に飽くまで懇切

利編

多數の用例、熟語、

には要求支配を示し、 用例にまで附し、

句、俚言、

格言をも加

とを傾け、周到な用意 授が積年の造詣と蘊蓄 本辭典は露語學界最高

権威たる八杉貞利教

と不斷の熱意とを以て

夏、十共刊夕朝 **于リ 専月**

呼の管

東京外國語學校教授 三六判 一四三〇頁 總軍基四入足憶九。〇〇 窓科鮮鴻。四九 貞 利

こと弦に年あり、今や燦然たる成果を得て之を「日本判を完成し、以て時代の要望に添はん事を期して黽勉する勢力と費用を投じて内容外観ともに模範的なる判例全集

んとする微衷に外ならない。

んとするは、動か以て我國法律文化に一片の密度を致さ

らんとするところである。さらに此の善美を蘇したる鬼 る協力を賜つたことは、弊社のひそかに自信をもつて誇 に當りつゝある現任の 裁判官の 適材を得て、 真の熱烈な しかも其の監修ならびに編纂は身親しく日々判例の運用

人なる太冊をおよそ出版界破天荒の靡價をもつて提供せ

||本らく法律文化の普及は努力し來った弊社は莫大なる情せる判例集を奥へられぬ故である。

き適當の鍵を持合はさぬがゆゑである。換言せば眞 に完存 んで茫然として長大息する所以は何か。それは 開くべ實務家さらにまた國民一般大衆が此の 無限の 寶庫の前に

おいて頗る偉なるものがある。しかも法律研究者さては

せられたる判例はその数においてまことに大、その質に近代法の文化創設せられてより茲に幾十年、そこに集積顧「生きた法」はこれを判例に求むるより外にない。我國配して當職である。法律の脈々として動ける姿、眞に所

の需要に聴すべく、最も検索に便に、最も原典に忠實に

而して最も綜合的なる判例の集大成を遂げた事にある。 い。要は判例集出版界に於ける在來の継略を満して一般 例大成」と名付け此處に世に送らんとするものである。

本全集の特色はむしろ一々これを學ぐるの質に堪へな

刊行の辭

との最は今日にあつてはすで判例を離れて法律を説くこ

本配回 權物法民

全下目は是二家木配四一第月十 配列二帝 、中本を滑一ていき書館 间一月何没以且一十二本

法科學 一行會計 躨 官 書 士官 省 生

機器は個人もある機器に単独も几々等 まてしくた例則も即南法をたき生でに でる超日毎が昭高いな音を定決の等例

ガハルで下門御御屋一てコネモ語

い。蛇蜒に瀘天下諸彦の支持を仰ぐ所以である。幸に江湖の絶讖を博し得ば欣快これに過ぐるものはな 冊二圓八十錢 (**夏**夏)

町表區川石小市京東

華版である。今、完成に當り豫約者に預つて残れる少部數に限 大なるのみならず堂々たる體裁を備へ、凡ゆる點に於て特製豪 版一卽ち大型版を切望せられた。本大型版譯和辭典はその要望 研究所・官廳等に於ては特に閱覧用として同辭典の所謂「机上 り特に希望者の需に應する。この機に至急申込まれたい。 に添ふべく限定版として今般漸く完成せるものである。容積が ごきに「岩波版露和辭典」の完成せられるや、學校・圖書館· 定價三十團 经料基穆湖群 九十四鐵一四三 〇頁 背節角軍 裝天金 函入約四六四借判維一尺一寸積七寸四分

的な露和辭典である。

編纂せられた眞に劃期 獨創的方法に基き害心

内容は普く新舊兩時代

の語彙を網羅し、

語、略語、軍用語も特

に多く、各語には一々

變化形を掲げ、

力點は

全卷一時間一金巻拾五圓出

也

酸 申 込 金 東京市小石川區表町

つた

から

办

一回第二番は 十一月より毎月 带 時排

員會約豫 月卷

全國書店又は本社 一を画人十載 一をの他不要 一をの他不要

見よ此の誇り、此の特色!! 製業者は我國最高學術と最高質職等の經

回配本

約中現品数店により

○素型に置する古典制度の人名○季古經濟學の業學「旬の基準」の内外學學會社会基 等の他樂學に願する一切の清単唱を

食前に、

0

洗顔に、 入浴

お化粧に、お調果

理,

前

に、

良

質の石鹼で

生活を清潔化しませう

容項目貳萬有余の大辭典成る。 計劃以來二年の歳月と拾五萬圓余の巨費を費し内 世界に誇る絶對權威全十巻の威容! !決定版後に完成す 完成紀念豫約大募集 に國寶的出版!!

全卷一時拂に對し紀念特典割引あり 括 容

最 少 L.

回的度



新心 快 鮮。 觸 他的 EL. 香

買求下さい

てなくもう一歩進んて

電光を

Mr.

民戦線に危機

急進社會黨に反政府空氣

リ獨新大使英京で着任聲明

>黑ふ洗を洲歐 英獨農防共を力說

だ」の旅職を振りかざしてボルシェヴィズム打倒の下洋に巡過する「防我投員」「繰結成を後拠してゐるがイタリー政府當局は一つ1銭鐵を撥けた結果ドイク、イタリー兩層政府は「投局房、政党にローマ外交界は見くも日本、Fイク、イタリー三層「ローマ廿六日局盟」イタリー外科デアノ伯は 山祇において ヒト・を閉座してゐる、ムワソリーニ資相の代賦と目されるカイ 日本政府も亦防共工作についてドイツ、イタ・共同戦闘を結成することは、一寸等へられない。ポガイタ氏は、二十六日の終上において、 これつたが即にファシスト機構派ジェルナール・デ・イタリア、次の意向を描らした

ム伊首相代辯者が機關紙に發表

ものとみられるが、右尾指派は早 た通り政府は賦乎確認を解放する脳にショータン無佐所相が武期し 同品の態度により我内閣の他 来す場合はさきにブルーム首相

を叩きつけると共に別題行動の自一般所能は長力ネペイン政府文庁を附は不行演室政艦に事實と認疑談、報常に依ればソヴェート競技の一「バリ廿六日周盟」ソヴェート誌「てゐる、但しウーヴル試セスコー「バリ廿六日周盟」 由を回復してスペイン政府支援の「要求してをリソヴェート政府はス

用出来ねと要求を拒認したといつ

世野祭内の名名以上の通りさ

T 000編

政府米買換

五十萬石と決

定

今回左記要項により内地米の買換

野便物集配四数の増加

り三十日間と買入について

南總督清津着

諸施設を擴充

が実題を行くべき通目施設が到っ、からも観る番號されてある。回設をとむる方針である。一般産業、してその観測値前機能能提出・2、四年間以内に可及能選がに関してもの観測値前機能に扱いにある。紙や 躍進産業に對應

機した南梯智は三時四十分古茂山午後一時中分臨時列中で茂山を出

日無事が進着、我等の総督を調へる
は、総督は知から雖りて志覧に
は、た、総督は知から雖りて志覧に
は、た、総督は知から雖りて志覧に
は、一人を確し同院ホテルに投資した

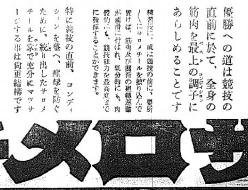
事入城 田川咸南知事

PERSONAL PROPERTY. の連絡船で上

特に競技の直前、コンディ

ージする事は尚更結構です

チールを家で充分にマツサために、続り出したサロメション を整へ、痙攣を防ぐ



調学学 整 ž

筋肉を最上の調子に直前に於て、全身の あらしめることです 勝への道は競技の

3

ナッフン・

新東は久方振に暴騰を演出

歐洲の危機に關聯

と勞資間の融和を、勞働效率の昂上

促すと共に勞資間勞働效率の昂上を

立に資するの要も り馬鹿になる。トマス・ライト 長するのは、 た自く一人 られが、ラ

せれば感が間 四歳の少年の頭にり、四十男の たるを選れ四

東京・大阪 H

邊商店

江田內御發航

外相チャノ伯は甘六日午後ラエネ

最戦すると同時に通路上の特徴とマニ國政府もエチオピア帝國

蘇に應酬

朝

鮮龗調查會答

申

で及びハンガリー兩國政府語に

オピア帝国を承認したのに退って廿六日同盟ニトイツ政府が

侵略を承認せん

は、おげてその負担を要認してゐる。 「世球に迫つたため今後如何なる。 基は損益の制引より侵患は低熱な 「難この様式市場の強調を強し四十個三十銭、以上の影響に勤め、特に次の講響を 一次による上の数では、 以上の影響に動き、特に次の講響を 一次には一次には一次による 「大阪泉町」 「大阪東町」 「大阪町」 「大阪東町」 「大阪町」 「大阪東町」 「大阪東町」 「大阪町」 「大阪東町」 「大阪町」 「大阪町」」 「大阪町」 「大阪町」 「大阪町」 「大阪町」 「大阪町」 「大阪町

され、その効果を十二分に浸取し され、よの効果を十二分に浸取し されるほど、スポーツ方面に利用 されるほど、スポーツ方面に利用 て居ることは問知の事質です。

造に総語の膜を流 をどと、中年機 たどと、中年機 能工英國に同 ところは「人

+

を除つて来る十一月四月明かれる。満は内泉調度の改革、省の鍛金の「漢京造画」海道経別大頭に終了、行政時間改革に関する側銭編取の選(漢京造画)海道経過大頭に終了、行政時間改革に関する側銭編取の 廣田内閣は重大決意で邁進

精神作興

新案特許 第一七〇四七八號

訓

この歌へにより

恶代進呈 単公は別かり 一個の名式、心配か 一個の名式、心配か 一個の名式、心配か 一個の名式、心配か 一個の名式、心配か

榮養の補給 疲勞の恢復に

の得獲康健 秋

い色々の變調:不眠とりわけ秋に起り易

ます 其の榮養を充 築養の不足に起因し 倦怠疲勞等は 多く

糖・鐵分等すぐれた飲料は「葡萄糖・果 に導く理想的な滋湿分に補ひ身體を强健

榮養素を豐富に含む

蜂ブドー酒が一番で

糖等の榮養素は全す即ち葡萄糖・果

疲労を恢復して常 身に新しい力を與へ

を増進するからです に強刺たる元氣健康

秋

0)

鄉

水原スケッ

正確のため理定面り逃ばない模様

釜山港船溜の改善を期ー

の上上

程果小整漁船は押し除けられて船 産業へ随物版を提出した、その要

丸星系運送 業務改善協議

牧の邸と府内大橋通海岸の二ヶ所

祖続する牧の島漁友館、中郷共変

園體當局へ陳情

で組合語政は緊急問語を組織。先一者に務員氏の静武評任の動版方を「ます」、作目されるに至つたらず午後「専門十分から音楽観醒」先つ返昇、やがて山崎確設は管理」こころなく被領、事態の践行

ため廿五日は同校の運動館にも拘っで山口管理者の注意で臨月氏は一

不厚核新衆問処理後策協議の

る背客く職事地行困難となったの 栗間壁について一身上の辞明を行

既然諸場は職然となり私語す

て午後六時半散語した、更は廿六と並襲、遂に何等の決定もみずし

長山地を掘したがこれ又強に得る 門も午後一時から町日に可聞いて 「金山 過度の工作部所主催の経一

水産貿易講演會

詳細製版があり - が山口管理者は - 一力配数性をでの語画 自れば、財易一致でこれに突成した。一て職を認識、歴二十五月に

力の性を発工事用材の運転的次系

と特職して部洛内の変化作業を行いのを強く愛感し商生思想の変化

を観元氏は九谷里内野菜病館生命

般に断生態念の乏し

一貫一千九百七十三回が設成の性に一てをり、金部に換算して百七十八

の好成盤で四菜五國の作家を示し

九百九十一貫といる実験問題以来

で監事に表征氏・金融鉄・海線は、日麦北部を開く密観の場所を破る。

日午前十時から影符名と明他、決一商工就業員遊転のため沿信委員に

算報告と十一年度第分編成、消報一米会通三郎、西尾角蔵、吉田久吉

清州 南一面九岩的 都校剛等

部落の美談

野を催し松野であった。

民水流館と野支輸出水流組合が

今年は共販開始以來新記錄

農家は大ホク

萬圓浮く

未解決のまり

の嘉戸氏に

貝解任を迫る

日間に三る緊急會議と

国域、神仏状率大祭は廿三日 られ脳川等の無異もあり快略に惡 氏神さなの秋祭 各種の奉納餘興も賑かに 全市は祝福の一色

a動行、邑内は現び、関節等で師 廣州 神祠恒別大祭は去らせ シ別から前夜祭、廿四日午後本祭

【回泉】流報、坂年一日銀行の野 8祭り著分が流つた 8祭り著分が流つた 體泉署の落成式

西朝直断一行に加つて南洋、南マ

慶北の

お温景氣

り午、日から都行に健康、原東プロは左側、際窓新築されていまし 全鲜弓斯大會

土製品は既に全断的に堅何尚く第一時から山路學務部長、小道産業部 「清州」「「外曹迪學校系義部監監」 業部擴張

等を新境散したので廿三日午後一

國の納助を得て總二級三子二百國「蘇大左震が入れ式を飛行、今後增「荒涼餅凱新駐職は先傷跡上、本月駆増加に伴ひ同校では道から一干「長、潜鴻道守、金濃線等列尾して」と上城町に新路上華中の朝鮮瓦所 を投じ作業第の新築、機械類、第一階と製品取民に努力をかけること

四日富平町の簡紅屋から移動業 一新社員へ招待し総大な披露が たが北九日富民三百五十

金泉にも創立

羅筋コンクリート地下至とも五たほ同紅量は東京清水組の朝政側すことになった 文部語学、明確に実施した。本語は、日常組合政府者は合作が直五十六次を指述学、明確に定義可決、評議は、日常組合政府者は合作が直五十六次を持続。

部級最左の通り

廖東青年團 近代ルネッサンス式の覚々

聯合運動會

は観察の脚接腕しく路況であつたたが、既中各個競技各町リレーに き四十七種にわたる既改を繋げし 員が参集して開館式を行ひ、引用 九時から別日、慶州南郷内青年展生の秋季大照動寳は二十五日午前 【浦境】青年層主催の慶東聯合著

永回の衛生展 [录同] 般民衆に関生思

新築收盛夏

【華山】四議では第四回水生物段【季山】工計甘五英間をもつ様て「耐公野草で衛生政党資を開催

岩田大郎氏が常雄した 從業員表形詮衡 朝鮮瓦電本社

增築工事竣工

浴出を設置の挑戦を進めてゐる国は消費したのを節約し部落共同 つてゐるが、同氏の報告に感激し 一族は例年秋级に百五十 **胎典郡黒龍始興公弥校ではその後**

娘一人に婿十人の肚觀 整てからの積立金と面に有法の寄 作。五、六年二教與西北五十世

戦線やうやく活况

内地へ収り続制して四込みに

【垂山】朝鮮に漢で渡れる。温泉を一に本月初後第一門の試収録に名終。された論である

第一りがが良好であったのでこの冬季

金泉の勤勞相刈

語は匿者の

鮮満各地の市場へも進出

慶南漁組の大飛躍

してある盟権の議論組合総合館に一の借製を構つて積極的に野に経日

力を織し内壁が以間の関骨を貼り、氏で娘一人に幌十人と云る際観じを将る謎として百行政に献せ依め、新聞前水作頂、南昌町車鉄釜の説 既報の如く来月廿日對行されるが一晃、本町二手添仁、別草町町が汲む たが常時間群して立族組しなかつ 除も一般からその出場を制告され 【水原】色緑の増建による選挙は一の諸氏、朝鮮人側は、細樹原宗東 数点民々信息以く町回路放展の 立族権するか混乱として遠に豫制 し難いが結め三日の中に二、三名 日午後一時から美し式を取行する この組織でしたので、来る二十一 を増築工事中であつたがいより 【河里】 造出組合総がけ去る廿一

河東酒造和合總會

一般によって輸送する計造をいてし

欲知時の生世間から祖、所為明の 及ぼすことらなり総督、三子部、一

で計場が現に設州方面へまで原大。あつた。 では最初には別がのできます。 からは大きな (まつか) からは (まつか) からは (まつか) からは (まつか) からば (まつか) からば

自己の現代に動かされる側がよ 巷の要求熾列

待機から買現へ

な三段跳

港灣修築とタイアツ プ

日下四回の形勢を選ぶてる

水神器なる選挙が行はるるに至る 心田開發映寫會

「管堂心田閉霞映鳥會を開催」「十九、三士南日間午後六時から」「清州」西本願寺浦州分散所では

清州中學と女高普

回大使命を有する 上崎線は得機か り馬山大師間の領事上に部開建上十三年度から著正さる。こととな

【浦項】明日柳間では、 得されてゐる 迎日郡農民デー

| 社会んとして二十八の顕微体部級| つ、ある場山建筑五英炉の大開発金郎| 典寺中駿道河の完成が共成 つ、ある場山建筑五英炉の大開発金郎| 典寺中駿道河の完成が共成 なほ目下三宅組の手で着上を添り 災害復興

組合では甘九、卅日の二日間道は 造の影響をするめてゐる関南偏衆「全山」失動復興を目標に魚些種 對策を評定

漁業組合及塞復新助成设立也漁業以外の水蓋關係災害堪須害漁糧役割計畫▲同趣道計畫 **四特則會計▲災害漁業和合**

暴行事件まで起り

無場の場別境別が財政総合さきに一たところ即ならびに漁業組合質局に大州」全南発展が金日面海査教 製器に投撃され版行出目されてる の表定によりこのほど部落間の和

程同上。 程 同上

成

瀬戸甲一氏を肥事、松坂高航主伝でるたが、今**世祖**合長に湖越即事 合設相反目して事好に順強を缺い 米中の赤臭組合は久しきに取り続 [加明] 翌日瀬内を中心として提 艦能にしたところ、從歩不和の

が開催して先う周年度に中央改数。等契权とも十三年度には同時に数。も理念實施を目指し集直目に考慮高等数立即即は追旋米、期次節例「年齢別に要認されてゐるので南中・忽離に取し難し點と、是所書局で高等数立即即は追旋米、期次節例「年齢別に要認されてゐるので南中・忽離に取し難し點立る祖等教育院經和上

立せんとする肚を決め目下、基本してゐる模様で戦は十二年度に設

亡されるのではないかと見られて

第三公普校は明年度設立か

道當局で基本調査

二年度實現

馬邱線三年後開通の快報

平南、京一等、平北各道を巡り歩い

定語で最上者い養慈郡長、赤門昭 てずつと野原畑で育つた卅三歳の 出しに穴ケ年华といかものは翌年

関野も政務の仕事も初めてよあ つたが三年四ヶ月間、官員の基 大なるの報題が認辞は最大なした 得たことは近が認辞は最大ない 成異は末知の地だが缺心誠準を 以つて重責を果したいと思ふ

性的缺陷の治療

本器の世界的名聲

九寸五分、間里十一貫といる命

町一時十七分於列車で京城、仁川 九名は相原訓導に伴はれ廿三日午 【金泉】公立小學校六學年尼萬五

金泉校修學旅行

もパスした過ぎ、脱竹屋駅を振り一て遊館、一代目の海州政府署長と

野田 歴 して殿殿を能つた人、以下同氏の

一世しに昭和九年七月 にバスした発才で振

可能官になっ 物質圏を振り

氏は昭和五年東大法科卒業的自立

界長に範側に

たが同民は明和二年の東大田昌で 内が形式と同いで家族同洋療住し 祭即長に祭贈の安田宗沢氏は吉岡

月州」平北高野派長から思北西

股組合は非常に称んである 江華島米統

四十三名、委伊城于三百四十、加四十三名、委伊城于三百四十、加四十三名、 は山川日午後二時から即曹極室で 中感想就 趣味を持つてるる。以下間氏の耶の様主、苔、野端、ボートに深い だつたことがある、整度形を位列車とはかつて京機道で

望来設証に仮却方法等可決、終つ 説明があつて教養した、野藤成左一 **通用出、定款、严肃遗居**中、明立 創江南郡守から米殿統制に関し

當局の斡旋で解決

江道院館長の明香にあり次で観 聞いた、競品人李藤鮫氏以下廿三 名意集、甲斐省長初め多数識別、

【正確】野木穀鉄制組合削立網館|大阪で江戸プ見だけに明明な監督 組合創立

浦項赤貝組合 販賣を統制 根本的改革

長出迎のため甘葉出迎のため甘葉出現の上が、一州方面出語。 サハ日より 動き

統衛校記念運動會

圖入說明書非品 作的課題を置りで苦にし原理する人の必能<u></u>

どなたもスグ申込み性の批判権を得られよ。 「性の我们識」をハガキ中越者に無代別返す

◇ホリック真空水治器 金五卯 窓際地工元母登録 商標 登り博士五十餘氏 實驗證明推奨

◎効果不完全の貨物あり、必ずホリック記学水品間をお求めあれ

◆生命にか」はる病氣でなくとも、男と生れ

◆生命にか」はる病氣でなくとも、男と生れ

◆生命にか」はる病氣でなくとも、男と生れ

を懸い不神から慣みの種子は一を過ごし、心並に

を応いて神に容れられず、成功變達は愚か

を心で、一生の危機を駆しても要に嫌はれ、

を見して世に容れられず、成功變達は愚か

を見して世に容れられず、成功變達は愚か

を指されこそ大變!まづ何を指いても要に嫌はれ、

を聞ちその唯一療法たる「本リツク虞空水治・

や鵬ちその唯一療法たる「ホリツク虞空水治・

ないるの御使用を切にお野めしたいのである。 物理療器で正常復活す ホリツク真空水治器の効果 刻も捨置けぬ 生の大問題 機能缺陷が 既治

| は殿殿市場を内地だけとせず生産||と鮮内境地方面へ作りいむことに||【金泉】郡では二十四日午後一時 者の利益増進のため軽労が増へよったが近親の種類はハモ、アナーから製労務制作典の難言に依り金 コ、発魚を主として扱ふ方針立に 陸面影音町で紹刈の製脆を行つ で用扱けした即数様を備へ又なか脚長等を続て、今日に至ったもの が長に築物の吉岡三加氏は廿六 住、直もに河州神也に参邦後初 年後二時一分智列車で家族同伴 **地区及25、「川、那洲南部** 加進ひの行政方面に傾向し高文 工二級、統師一部門林學校を出 スした漁村で本府事務官 関して人で性格も明明快話で では、大で性格も明明快話で た、氏は熊木縣の遊で本年

に無野りん女に、小學校

性器短小

は内没所投から全以は内没所投から全以は内没所投から全以は内没所投から全以は内没所投から全然行旗を収ぎたる。大いに勉強する。大いに勉強する。

六尺近い偉大漢 全鮮で最若冠の警察部員 安田さん忠北着任

多田稅務署長 瞬頭で寫す)

氏は成果は形 器長多田仁己 器粉 代に榮轉

全身的な影響

| 大学のでします。これ接触本ので変が上すって、地震の変が上すって、地震が大きな、大型により、現代機能の現象、設計・ので変がに離れ、正に他のを対すして、地震がより、現代機能の現象、とこれをは、現に他のを対する。
| 大学の表に、現代機能の現象、とこれを表して、大作用
| 大学のでします。これ接触本化 | 大学に、地域の変が上述してある。
| 大学のでします。これ接触本化 | 大学に、地域の変が上述してある。
| 大学の大学のでします。これ接触本化 | 大学に、地域の変が上述した。 | 大学に、一定により、 | 大学に、 |

性器とホルモン

一般が保護機・ルモンは、場り生で、 一般・ボルモンの交互作用上段を重要の 一般・ボルモンと、この 一般・ボルモンと、この 一般・ボルモンの交互作用上段を重要の 一般・ボルモンと、一般に関する 一般・ボルモンと、一般・エルを重要の 一般・エルを一般・エルを一般。 一般・エルを一般・エルを一般。 一般・エルを一般・エ

徴せしむる情効をだする。

について国十一時から李 伊川 公部技では午前十時か 各年前十時小、野蓮學校 ぞれ繋訛郷遊武を襲行した い

ら記念式を官民多數列院裡に整行 江陵 年前九時半野枝太郎で

奉讀式 各地の盛儀

年記念日の二十四日午前十時から 春川教育教育的一十五月

4灰固めの寝棺に 女さんのミイラ 春川岬山で駅大かに含式機を単行 F 2備 部。及び各場技でそれ に直民多數列院接聲式を発行した に復舊した 『丁丑、納采の禮を執行』の書類を抱く その他各党校でそれら、接顧式を発行した 羅南道師は午前十時から、

よって仲町公爵堂、慶期は三日か

し元山の花同い野土間で現花

地から頑丈な原板栗台県邸めの豚相を腹壁したところ丁壮地から頑丈な原板栗台県邸めの豚相を腹壁したところ丁壮 の年納がの確を執行した趣の掛類を掴いた六十期後の老袋 咸興の住宅新築地で發掘

季として出版する開政府的院員文 される神宮殿技に海鮮代表小塚選 水る十一月一二の南日東京で開催 建野球 選手東上 【開版】

節から三日間は事務所除上で遊

城岸でも催す

流された三人

一人だけ死體發見

長津江水電の桥事

他間氏は盛んな見返りを受けて 計画

▲愛頻繁愛頻都構動可集田牟(* ではないかとみられてふる。 副関係の可能生れ安島光度(*) 副関権で署衣その他から衆田年書行方不関のものは

のものとみる外なく洪政論の臨定を出目されてある 戯舞な品評価複雑な鑑定時であるが来事が丁丑に常る初め全員服形のするで素人配には完全なディテと認められ ところからこの死骸は大十年期自二十年前或は自八十早期 際して永年動館の功を支配する

の死職が現れた、白墨二分型りい頭墨から御、爪、顔貌な

鰮群影をひ

そむ

沿海州沖合には濃群が回游

また悲観はご無用

咸南九ヶ郡に四百十一頭

ります(塩所は迫つて通知)参加創作駅の方は管数1回を後六時まで、縮弱は脳流とし間夜七時から観響観響観を戦

(十月末日までに本証所城支稿 (開城西本町、電話四四

ることになりました、出機は同日午助告時以後、闘君は午

月一日(日曜日)焼雪緑が日を期し頭銀大雷を開催す

廿四日をもつて奉天の社屋は歴

性の新

療法

は中管を使用して再發を防止されたし。

母酸せる患者に對しては、連かにウラルゴールの短管、蚊 映ふるが通例である。故に再發の恐れあるもの、及び旣に 5繁殖して旺盛となり、感染賞初に劣らざる苦痛を患者に

日着任

農家預託

工、十一月一日から開闢の運びと連分解が各は豫定道りで育中に峻 【延音】かれて加張中の北野 領事分館

の九氏に記念館(銀道:種架)を「網館帯圧開網発験を照氏と決した。」を「大きななほか代主使は地熱が背茶」を一生により、「大き」」といったとは初代主使は地熱が背茶 上院和十里可正)宏澄、職門、長「拍事業中の重要」。即で長地に震域しるる 九年寶吧 豐田 二 | 地震の | 地帯(真上昭和 で三面面長権楽館氏の司幣の下に | といふにあり、この部業業がは利力組具路、逐年その第后を擴大 | る二十三日正午から三四公野技跡 | 少くとも | 面に低下すべきであっ

后門班以內路 本水住 為校並

動組教員

成興教育會

九氏を表彰

威興に降雹

永興邑の附近では

「現象と五百年/方式」 門目の著肥を上田四十銭、は成上六四十四銭の - 間の題家 - 自営連続は長崎1十二部組集四百十二部に成したが一 元都に達し所記 室青五十四年 ある

年から野終窓構内で記念式を集行歴が組念はを進行を迎へた前が組では正

「新翠雅」去る廿四月出立河廿五

廿五周年記念

新型坡消防組

ら決して矢皇する | 本蔵小前田チョ本一曹韓第九本 | るが二十四日平※千時半頃水輿当く憑能が劉確して | 徐治道・中サアム・ネコマト | 豆能大の鹿部あり披露は融資さち恨によれば海洲、米世島南朝別貴 (田芝春典本間) 豆腐大の鹿部あり披露は融資さませい。 | 高増高橋次平本職本間 | 東東店に避認た 【蔵興】二十六日午後零時二十五一附近を襲つた前後四回の降省は段 農作物に相當被害 正らず歴大失。はちな世事勝人即を得てをり任手を命けた臨家を登三

では1、15章で大人だもの「空を単龍し府内戦院十年以上の数1歳のあるところを見れば野」でで単龍し府内戦院上定時総のあるところを見れば野」でで単龍し府内戦院上定時総「成興」は関連が関係は十一月四十四月7十二両に関方(明漢)

政党を及ぼした機関である

菊花展覽曾 製せぬ国際機能の事要する利益機(形子消防機関支部長から崇田領部

| 元山で開く | 【諸宮蛟』 集て宝華中さまいた長、機器と超数温を登記式を、公領に出)来る十一月三日の関節町、基繊中三四面域料用と伝統用面の「で総数を破った

息訊まる人接戦 の球史を飾る

本社支局上。催軟式野球大會

山林課に榮冠輝く

グラウンドで駆行、初目の世四日 北郷、小木竹(窓)の四兵戦戦の(東京上警察して贈回に入つたが十野郷大館は「十四、五の爾月高帝(は午登三時から桑布(窓)右田、「丸山跡とたつて鬱寒をならせ、剛野の大館は「十四、五の爾月高帝(は午登三時から桑布(窓)右田、「丸山跡とたつて鬱寒をならせ、剛野の大道は「大道」が

八年振りで

新任威南警察部長へり吹き

尿春間自動車 賃金値下げ要望 京春鐵道に準じて

市民党並氏は辿る

※ 帰頭盗視の害

T五人登五で高端間く勝ち、か はまだこれをもつて南近ゼず近来 | 超とすることに内定してゐるので 題じて激光低下したが一般の聴録 十銭から最近三面に時代の要求に 脱島七面から大面に 既に三個四 また側的介になります。六年級 f りに一名照りではなります。大年級 f りに一名照りで配から 「た 非遊びに来い」と認はれましたがその機會を得す六年振りに見るのもりですと配するのもりですと配するのもりですと記するの。 1 世代本にの f 進内の事情に振わ知ってあるのもりですと思すと思います。 1 世代本に対した第二と思います。

現在三圓を一圓に

本誠と第一回駆の磨器山林部の財際り、同十一時半、不服一扇の土 以に三島で極場世家社友川県部を の再試合を行び大回目に高曹一

長湍スケッ

郷大な接着式を製行した 各型校生徒及ひ各級環境が参楽し

計量是正

る世四日選挙行第十二列車が再編 列車脫級 [蓋] 去 「平場」 石炭の 監製地に入つたの 不都合な商店側の取引慣行 平南で不正者摘發

もつて一旺の既位と定め計量販量。取締ることにした が超近衆省の中には九百八十融を一 れに助するため準備を進めてゐる してゐるものがあるので道常局で で所内の各版数店ではそれんくこ することにした、又嫌反應意素者 は今後からる不正業者を解脱次第一することになった蘇結智助合い曲 度量動令選成として相當の成分を と取り素者間における計量も同語

紅を辿った

「成果」二十四日長微江水電場) こ、甘五日線記されたが飯面が除い級電がの園水停電車及による空に の二名と物関した、有の内一名は一級電がの園水停電車放江水電場 一 こ▲新興郷土九川電車中海 こ

請願郵便所 設置の東語

便を窓し請顧館断談に対応的な、東部輸業公司は十五年の歳月を鋭っ極公司とかけ替べられてるたけの地がないため住民は非常、不一談をほかり大正十一年創立された。先秦大野年町の本価組織は報

|質異角症性に独行し、環境が貧い

歴史は輝く

移民に偉業を残し

満鮮拓殖のお引越

和膜の側面に潜伏せる淋菌は、ことに生活力を復活し、

時候の變り目、或は飲酒其他の不構生を犯す毎に、尿道

開城競腦大會

穴面)へ御申込み下さい

することに簡化した

· 助八時十七分咸奧智列心?看住 (咸興) 但川咸南加斯林三十一日

魔異 四川城南湖部 生于

しかるにウラルゴールは敷ケ月、或は敷年、十數年にわた 此の慢性淋疾を根本的に全治するは極めて至難の業である

る慢性淋菌をも、殺菌し得る最新の發明薬である。

退内の淋菌を死滅せよ/

表面にあるにあらすして、尿道粘膜の側管を蠶食し、潜在 **に慢性症に移行したのである。この慢性淋菌は尿道粘膜の**

淋疾は感染後、一ヶ月以上を經過して全治せざれば、

しつつある。故に內服藥、或は洗滌、注入、

注射薬等にて

- が、甲由(4)関連或を繋行した、同縁は北鮮硼、臓器局に對して主葉属を熟収して光芒(兵上昭和・宣三暦暦長崔英龍島の司幣の下に「といふにあり、この際量・営は勿

|「等道路はこの縄元成したので去。これに傅正元春間の自動車任命

農家の利益は多大

の様気田標工でするところ多大で

面の風動で成然者がに歌ゆ 題風] 實際署長干品止太郎氏は

然らざれば淋疾は根本的に全治せず

急性、慢性を則はず男子の淋疾を全治するに 尿道内の淋漏を死滅せしむる事が絶難的に

選続が前は京都に 兵地し 出

筋筋とたり、 州氏とも十五日

「開城」工費士の団を投じて改会

開城署地鎮祭

阴城銃砲火藥店 阴城 缎 友 會

出來過ぎる農大 東邊道は素晴しい新天地だ

【威興」卅一日から二日間加催さ

咸興軟式野球

十チーム参加

成則に協主能の軟式野球大雪

初窓楽は勿論の事、

たとへ優性疑治の淋疾と難

れたし。感染早々の患者には短鬱を使用されの大きに良鬱を使用して治療し性緩み防止さの大きに良鬱を使用して治療し性緩み助すには短鬢、中鬱を、次に中管を使用されたし。悪性か或は鬱

2頭の慢性及が再発の投資には及初に短慢

にまで深透す。故にウラルゴールを使用すれば特徴し、尿道特別の細胞種類生に育者せる非質 も速かに排騰。 単絲を消退し、他方に向はしむ

尿道特級の細胞組織下に潜在せる掛協に関しつい、数時間にわたり殺痍作用を

十三日配住した、副師がを何が 経方面を一盟間に亘り巡り歩き と地味は嬰状と全く住みよいとい所だと思つてゐるが景色はよ東源道といへば盲鬼復行のひど 赴き即南 山城町 道化、三 ある。三種堡などは三ヶ所の鬼。最上町二路銀石器の口は人どのことに、大耕作は古郷江南。 び氏家蔵兵爪曹の五氏は畿骨の鑑をやつても腹作には郷江南。 び氏家蔵兵爪曹の五氏は畿骨の鑑めので一大財ので千天地も二三天 した。 なほ水下 露了商長、安衛堡ので一大地で千天地も一三天

に防くは問る

肥料なしで結構といばれ開墾後ころであるが、農作物は二十年

咸興の豬掘大會

真確十本 中晉十本 同 十本

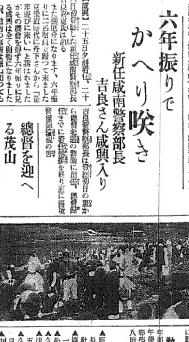
帶 種 致 易 所

發賣元

友

松長豊野東に開催、参加人政二百

る茂山 總督を迎へ



吉良さん咸興入り

ることになった英山では廿五日面 (後山)初度温泉の南部音を辿へ 長をはじめ宮民多数世動して闘削

別し親を町に認識を深めておくために || の十チーム参加に決定した 着住標理をした後午後一時省公署後且開車部を初め主な機関を脈訪すトホテルを出で延古神社に参拝 着任挨拶 品景大型總額 大迫廳長 | 長月 新年間 本町二、沙浦町、本町三四五町、印公田二、沙浦町、本町三四五 教練查閱 [羅南] 經濟份

殺兩作用持續時間――治臘に避する本館―

- 三時間より六時間 - 一回値か二、三分 - 一日一本或は二本

雷

▲久保田蔵北道主木語技学 廿五 八日於山へ

代表者金周百氏は廿六日上城巡信 何長に對し陳情するところあった

面洞書堂では九月1千四日一行。を越設することになった 地報頭取の北部視談に際し北街。金を返立として校廷に開 重量堂に「寄刊」(「威興」有「血駐在所とも協議の結果

翌を防止せよ/

短管三本入 (後前川) 日英米佛製法專賣特許 本入 (別字優性及種類用) 問 (別字優性及再數初上品)同 重人、病院用あり) 入(男子慢性局抵用) カバーは〇円七五 回田00 四日〇 OOTH ちい渡山す。 を引生其他便用の 高にあり。若り品 だ疑は変元へ即記 にあり。若り品

京市日本 杨枫本町 (前の、マニを行ば、負債 、 或これ気:必

田 履替口座・ 東京 電話日本橋(三八○ 合 資

関は、到底短期間に撲滅する事は不可能である 膜深達性に富む色繁剛とを化學的に結合して動

ウラルゴールは製器力器き特殊の銀箔と、

此の粉末を渡ちに溶解する所の管中に

原細胞組織内に存在繁殖しつくある頑強なる淋 何儀か敷分である。斯くの如き療法にては、 渡のために直ちに外部へ強出し、其の作用は **精製の表面を一時的に流揚するに過ぎない。ま** 尿と共に尿道を通過させるも、其の作用は尿道 必要である。しかるに之に對し内服襲を服用し



陛下には年則九時五十分

大片御所御出門、同十時

ふ 星太后陛下には、大 深き倒し変を重れるせ給

が始めてのこと、何しろ面割の別が紹督の比較に確意するのは全度

コ屋並

か

何れも四國生れ、兵隊さんの一隊 | つて廿盛の墓が訳いてある、せめ| 金重の中央には蘭大をあしらった| は二ツ星の兵縣さんばかり就郷は | は西蘭※りに振角痣の毀り器を作| 食重が確べられ日泊が置つてある

F、除さんの電景設備として

頭な瞬風で聞まれてゐる、東側に

である)この優実(?)は三枚の歌

問版館で実施な質響の概を狙つて 退士の忍苦には及ばないが、四年 泥牌職業にも意地が調節る、赤湯

六日深地思れられない京城

泥公の意地みごと失敗の卷

第一高女の

校門を着つ

即三時頃架京城府団融武様が将蘇の徭であり更けた世七日午 夢から発散した魔を自動地に主

四十二

京城三坂連第一高女に忍び込んだ。 署員が施けつけた、どうした何り

四年前の秋 の襲り子代吉氏に經經され、曲山四年前の秋 の襲り子代吉氏に經經され、順直致

本に東部電影

命はせかけの米地が四半市の山山

怪しからん」と連ちでんに喰つ

てからったが辿らやんからアッ クするでらな形で答を驱ぶとけ ンク、停削すると「何んだパン かせて御師宅の途中資金町で、

その尾で齟齬器を訪れ「彼

といよ、係国が「明日調べて出

んじばられ 原復四年に 選せられ

規則が済んで去る十一日出所す

ものと出版の日を行うたー四年一「これが泥解の意地でご」と述べ

ずれ以不具の人々の上に 【東京配話】世の光に窓

> 然長の中川幸養低長さんでもの外 は明統中院十名が別盆てられた、

は世代別人士職隊(大邱)第一

単個種に別素期に題ませられ、

を傾けさせられた

の特殊を親く河西で、十一時二十五分全世君が代

縁さんのお泊りだしと

ズいで単菱部に触ませられ同三時三十五分、湍政章に生徒が微蒙を受ける脚を非総心に即覆あらせられ十五分東京豊華楽技に行作、僕科初等部中寒部の順

ンフクた琉部、窓には日報のや the であるが、 足野いてのろ、調度であるざい、足野いてのる、調度であるざいく兄野いてのる、調度であるざい、日野になってットルビース、 クラビーの かっぱ できません かっぱ でんしゅう はんしょう かんしゅう はんしょう はんしょく はんしょう はんしょく はんしょ はんしょく はんしょく はんしょく はんしょ はんしょく はんしん

維氏面、製店等を以門に泣かせて

春以米京城府内の小さなタバコ店 | 陸越する被害者の申告によると、 | 至って去る一目京城南大門通り

さらに連累も數名ある様子

婦人團體町會

隊お接待

振り當ていれた個所へ入つたが

ザ・エント 方がよいわいとやつと邸宅し

着びこそ違ふが人相は何れも

いふので同

釣銭八回を 非取した外

| 地震ある最近みで引動き記及中で一大数代の銀行を遂に自白、他にも

親切な宿舍

際のつはもの建か交域の取べ進電

十數件の釣錢詐欺

に悪すなくと語言とは多くなが、機能の調べた結果、サンロ子を含いている。 は思いない無言思いは多数を表する。明五の学派世についる経験を考えして、 は思いない無言思いは多数はなが、から同選師木成軍部長が女政権が しているを経験を表する。 の元の事派世についる経験を考えして、 は、これでは、一人の著作して、

大食堂に疊の居心地をつくつて

溫い陣営の夢は結ばる

10 (隆五茂は本行け)とう)と、白の大輪の菊の真花が盛つてあ」。(隆五茂は本行け)とう)と、白の大輪の菊の真花が盛つてあ」。(隆五茂は本行け)とう)と、一大橋の一大橋の南の東西では、東京の東京の東

ようこそし

縮恐にしなてものんさ子友嬢令

戸郷上の本選択さんは仁川村!

都に取扱ってあるか、仁川府戸下都に取扱ってあるか、仁川府戸下

道頓堀に結ぶ悲

はこの奇情な出事を極後 城府戸部係 書いた醫師? 乓隊さん遠…昨夜の コはつて堅くなつた シヤチホ

野里町一四七英宝泳さん(こ)は世

七百年後間の8氏を訪ねると

當の某氏談

生きてゐる

てあるのはいろく〜と事情のあ」に魅ってまづ一般、何れも甘三萬生である事は描きました。生き「五分兵職さん並は中央の屋側(?)を求が死んだ近によって除難し、五分兵職さん並は中央の屋側(?)

酸の獨自都ばかり、しばらく符つに揃ってする一般、何れも世三四

スに白い襟を見せて棕櫚に見えた間に令物をすさんが青いワンピュー

◇つくりもの……

加田職民に祖立、またくきもせ キチンとする、中には郷下に小

テトー、Figure 「一般、カシワ、グリンピース、ボーンの、カシワ、グリンピース、ボーンニャク、

住川氏をめぐる奇々怪々な告訴

祖忠に、文権の選其他の即名で

復籍を求

8

愛人を入籍の爲め死亡屆で除籍

朝鮮貴族の

門化

秘話

B内科の配下のペンチに聴をかけ らやつと特診数を手に入れたAは こから一時間は避つた、腰がちく 関け耐五時頃みんなと呼じなが 能み出して閲覧さへおこつた

挑戦的な彼等

|単に口をあて」「四日もう一度み つまさきで歩いて出た助手は彼の 助手はかしこまつた、前のやらに 石い助手が父手を振つた、敬授は 外国群で助手に一三三語つぶゃいた

「シッ・・・・」

なければからないです」とさるや 会縁が終った後はグルンド(影響) 「飲ら将呼びになってもお出でになりません」 交換手の聲であつた、彼は仕方な

数長は酸素細のわちを過しては がラス質を見つめ優けた、卓上 があるのを見た

に依り推奨せらる 一十十分を選其人 (大きん玉)を治すには

一町田須田神京東 前館舎師智京東 - 所作製ナゴ柳小

馬遊

す完でゴ第三 全押4のかよ にえのかより

黴淋

Example of S

ABBIT ON BERRIOR

と一個八十種見替、外に金剛衛特 にわれ等の兵隊を迎へて、**温い夜**

藤本

順博士創製

蒜

京日案內

と中食を敷き少食はお評估を買つ 斑点の中川恒長さんは感謝して跳

アバカスは皆皮下の色 素メラニンが處々に沈 着したもので化粧品や 外用薬では絶對に白く ならないです藤本順醫 學博士は蘇鍵の成分中 に色素を分解するヴィ タミンCが多量に含ま ないでは絶對に白く

現代を発

一院 京城タクシー本社 ・ 京城遊遣バス案内者

看

京城地町二丁目経来記ありたし

郷及児童主婦人用帝 印本二七三六番自 患怖病院

日焦けや色黑、シミ、

本品四の大番人 / 本品四の大番人 / 本品四の大番人 / 神生を作用 / 神生を作用

方老人夫殖孫二人爾路
るべく田舎出の内地
入用年齢二十歳応成

大学 (京城市場合) 一次 (京城市場合町三ノ三〇二 改多山東京城市場合町三二六) 京城市場合町三二六 (京城市場合町三二六) 大学 (京城市場合町三二六) 大学 (京城市場合町三二六) 大学 (京城市場合町三二六) 大学 (京城市場合町三十六) 大学 (京城市場合) (京城市場

色白くする

1

タミンC

にくつろいでカッコミに大作。て食卓に就き、こんどは賑やかつた、そこで兵隊さんホッとし

の兵隊さん慰問袋 京城南山町婦人會

著しく増進しますので 裏から白くなり健康も している。

店員 採用退内他人に取る の作ある者の旅門持参の事保証人 の作ある者の旅門持参の事保証人

好評を博して居ります内服自粉として大變な

+

て質脳の人たちにさよならする、

府尹官舍新

仮密六十四位 犬京城府武官舎建築工事場の大 上日年後七時年與京城東四時間

後八時頃廿七日早

捨て 子夜

組キャパレー丸玉の女給畑内ハナ 紫菜町郷工製木内勝治(た)同心頓

人の騒を見て、午間十時とろ松島に預け保護中であつたか、旅館の

ないボートが置ってるる組造から

海上担省の手を強した結果消手の

山水主器では胸名を野削岩井脈組 水浴場の貸ポートやモーター船で

心中を全てた原語

神丸で後山に上陸した大阪市群部【空山電話】二十七月朝入港の景

製造元モンブラン製芸全国有名百貨活躍店にあり 武楽進呈券 戦勢所へ三段切手三枚封入 を中込み下さい。

大阪市西成品干本加一丁目

影拿贝

錠

国の船 中分 1 まで、 中分 1 ま

題に、岳の野田の

金返効無 大變だ!! 神穴治療の連期です。 一大變だ!! 神穴治療の連期です。 門 土 神穴治療の連期です。 ここれ 大寒 に 中 に 中 に は いここ



乳酸を産生し、鷹敗・異常醱酵の防止こ、有害細菌の殺滅 ビオフェルミン中の主動たる乳酸菌は腐内に於て强力なる 中毒の阻止等、 腐敗性食餌による 下痢の 原因を除去して

内消化作用を有し、不消化便を解消し便通を調整します

することなく、快適の便通に導き。

下痢に用ひて、一般止瀉劑の如き便秘を招来

や薬店に咳嗽す 末三錠瀬の二種

HOFERM

店商衛兵長田武 慧 元資發

町修道區東市阪人

所驗實生衛戸神 馨 元造製 町番_返田林市戸碑

36--第2(0)

ピオフエルミンが整腸劑ミして、多年醫療界に 下痢にも、便秘にも薬効する……これ、

重用せられる特長であつて、

消化不良

急

性

及 CK

膓

力

タ

酵性下痢、

食傷

乳見・小見の緑便、

消化不良便

本劑に配せる糖化菌は乳酸菌の作用を増强するこ共に脇 安全に治療効果を収めます。

基の書しるがどんなものであるか 他の、小さな 難は帯 ざめてる

ないも、お母さまの胸口寸にある」

一流争弱血 (21)

いに落へさせられるもう。 八章 金易二郎

帝國海軍の現狀

式に大四步と六二金の行ち込へ。左右する判験資本の観察力と比較、の英、米、確等の基準形数ません。 で手組が裏加されるとになる。 力を説明し出質値に重大なる観察。影響されるのは常然である。観俗の何、河極的作戦では後手を引き、力を説明し出質値に重大なる観察。影も上たる観察画の瞬向に使つて、塚田君の四六声は自身気べても、映暗点を断として我海軍力の観察。派も上たる観察画の瞬向に使つて、塚田君の四六声は自身気べても、映暗点を断として我海軍力の観察。派も上たる観察画の瞬向に使つて、東田君の四次声は自身なども 76年 東弥力と云つても鑑胎状器の敷脈でと云っせんとすらものである。 狭海軍の を行する列國商庫の現勢力と比較の英、米、蘇等の軍備計劃は果し」の興職此の一番にあり各員一般都 力を説明し相對的に最大だる關係。影響されるのは常然である。現在一て海峡の時期も司道した時一身圖

相望の女の人つて、

お欠さんの、晋南があればこそだと、施子は思

今、自分までか

席上挿話

二五に遡る先が相當敵に影響しや敵に五八飛と廻らし五五形の用で

信於關各九時間 消費時期

を云つてゐるのも、むの賦に深い

明らかに獲行も出来たい無常

意りなかった。戦は五月世 患減点と上り、日夜極地の練器

高田 西海

三二四十四十四十二四十二 を解

消

各地薬店にあり

たとつて大きな打撃でなくて何ん。なら、住方がないわ。あたしは一 | れば、向ふの女の人のところへ益 | で美はうとした。 くなつたんだもの。即居させて真 「あんたが相談に乗って臭れない 四田來ますとも、わたしはあんた らなくおたりにたるれ、稀しくな の勢いで、まるで娘を叱りつける 『お父さまの勝手だよ。だけど 『推測に美はれないでうにするの 『そんた勝手なこと、世間が許】

へ見るる。何とともたよりない数だと思ひながら、選子は母の質得的難して、菓子はたのしさらださしなるのにおっても、 ら、お父さまはきつと称しくて様 これが母をまが肥居だすつた 局お父さきの側を離れる原領はな いのではないかと、選手は肚の底 た。それごらんなさい、腓屈するとは、神にす。彼らする。 のために、今日母が誰めたと同じ くと云つて出られたら、何をされ なさいなきや駄目おやない?」 なら、いつも側にくつ付いて監戒 くないわら膨に女の人が出来た 笑はうとして、假かに笑いなく 同

だといふのに、瀕しいショックを

の平和な 夫婦の間に 嘘が入つ

れ正午(東)時報・日用品位長・鮓佐藤(は茂 同學時三〇分(東)別民歌語 東京府選事試驗均長(テキスト)

同六時五五分(単)カレントトピ 同七時 エニース・天気見込・臓

デの緒を締めよ(集都大將聯合 - 郷か花を 個八時一五分(大)朗邇 - 勝つて に実談、 は実談、 通して機械の心的物的の根源を関

なりません。そこの目が他さの 集張を握くなら朝に織のすりに、に拾ひあつめた本の類、質則、 魔物が震こされすす。この家庭部 置りの献は、家庭の主婦にとって

代理時 北鮮商船到

局九時10分(東) ラデオ情景 版 同九時(東) 家庭3 や 今日の天気見込た 関九時(東) 家庭3 や の悲訓(二)村田田・東(十八) 題のとをできる。 年前六時三〇分(恵) 基礎英語標 季節の漬物(一) 茸類の漬物一〇時三〇分(果) 家庭講座 (水曜日) 周三時・〇分(東)政師の時間 山)現代阿派政育護座(1)表示第一四代阿派政育護座(1)表示第一山) 一、てんてん手選 一、 てんてん手選

同九時 唱劇調

同六時二五分(大)英部選座

國語教育の方針と方策(十

妊娠を書くまでもなく個人関知の 【作者の言葉」光脈が設仰するま の原材を強ひました、もはや

為単年阿県教育の背際(同事

着々剛果を心めて行つた。陸軍も 脚合脈隊は然に修修二金を先頭に

的で打撃を與へた。然しこの暗り

季節の漬物

参賞トニクロ 969 666 GE GE GE C 際で博士・十畝徹底寛峰散告書及高歌品重量 石田・二面八十謎 「新選術・社会器装賞、肺器線、 前温網・生た器装賞、肺器線、 前温網・生た器装賞、肺器線、 有店家名著及店侵百 意注名品 似類气 **杣憲式**牒棄築堂善慈 元 🗷 🕶 四下三路建城京 番七〇九一城京替派

かるまでに整備せしめた 日の正髪脈によって再び起つ能は た。かくてその夜の夜襲、二十八 た。激闘州分、我闘艦の命中もの

明代國語教育護監

教師の時間一般に國語教育につい

て特別の難心をもつてゐるのであ を興へてくれといる要型が多いの

上海行島

丸 十旦三十日 等山、高町、贵山、上 青島 各古屋、海水、 東京 東京 東京 東京 東京 十月廿五日 十月廿五日 十月三十日 十月十日 日十月二十日

朝鮮運送株式會社 金山田地

+

製造元

本

П

生

育群代現店 Ш

木

村

藥

房

四五七番

京城太町

度とこんな不能制をなさらないや 廿八日番組

| 同九時三〇分(東)時

廿九日ご、物

(大) 海車特別大選習靈鑑式御 (大) 海半頓別大道寶鐵載式御

同八時(大) 録音と實況「今日の居實長 佐藤 泰山 佐藤 泰山 午後等時五分 俚語 東岸部

學校改送は明始以来小學生の時間

八日 始荷 奈良 酒の語